

# 2019年度 ハワイ大学マノア校春季英語研修報告書

2020年2月3日(月)～2020年2月23日(日)

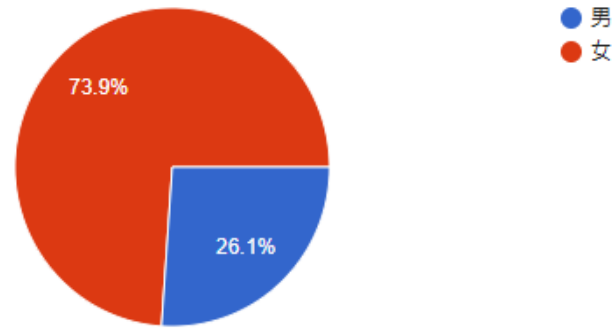
参加人数 23名

## 2019年度 ハワイ大学マノア校春季英語研修 報告書 目次

1. 性別	23. ハワイ大学マノア校への通学手段、時間、費用
2. 学年	24. ホストファミリーでは、どのような部屋に滞在しましたか？（複数回答可）
3. 参加プログラムを知ったきっかけは、何ですか？	25. 滞在した部屋について
4. 2019年7月1日（月）の春季英語研修説明会に参加しましたか？	26. ホストファミリーの家族構成
5. 本プログラムへの参加を希望した理由は何ですか？	27. ホストファミリー宅での時間の過ごし方（平日・週末）、印象に残ったこと、感想など
6. プレイスメントテスト（クラス分けテスト）について	28. 費用について
7. プレイスメントテストは、どのように行われ、どのような問題が出題されましたか？	29. 食費について 研修中の食費に大体いくら（USD）使いましたか？
8. 自分のクラス（レベル）の名前は何でしたか？	30. 朝食・昼食・夕食について、それぞれ、どのような場所で何を食べましたか？
9. クラスのレベルについて	31. 航空券、プログラム費用、保険、食費以外に、現金・クレジットカードでそれぞれ大体いくら(USD)使いましたか？
10. クラスは自分を含めて何人でしたか？	32. 上記は何の費用でしたか？具体的に書いてください。
11. クラスに立教生は（自分を含め）何人いましたか？	33. 電子機器の使用など 日本から持参した電化製品
12. クラスには、立教生の他にどのような国・学校の人が何人参加していましたか？	34. 持参すればよかったと思った電化製品
13. 授業内容について	35. 不要だと思った電化製品
14. 授業はどのように進められ、どんな様子でしたか？	36. レンタルWi-Fiを使用した感想
15. よいと思った授業内容について	37. 日本の家族、友人との連絡手段
16. 改善してほしい点について	38. 危機管理（研修中、危険な目に遭ったこと、避けたほうがよいと思った地域や時間帯など）
17. 研修期間（3週間）について	39. 他の学生に、本プログラムへの参加をすすめますか？
18. プログラム中の課外活動（学内外での授業以外の活動）について	40. 上記の回答（「すすめる」「すすめない」「どちらでもない」）の理由を書いてください。
19. プログラム中の課外活動（学内外での授業以外の活動）の内容と感想、良かった点、改善してほしい点など	41. 来年度参加者へのアドバイス
20. Interchange（ハワイ大学の学生との交流）の内容と感想、良かった点、改善してほしい点など	42. 英語力について
21. 自由時間（放課後、週末など）について	43. 研修を通じて発見したこと、学んだこと、自分が成長したと思う点など
22. 滞在したホストファミリーの名前（姓）は何ですか？	

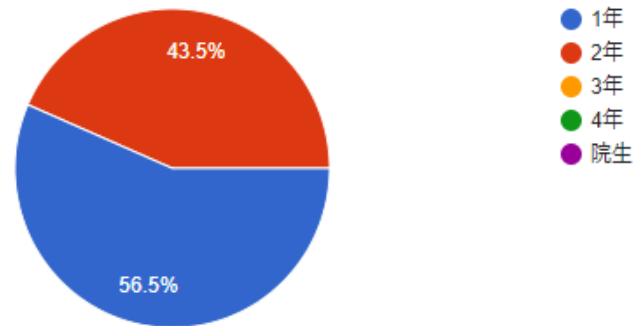
## 1. 性別

23 件の回答



## 2. 学年

23 件の回答



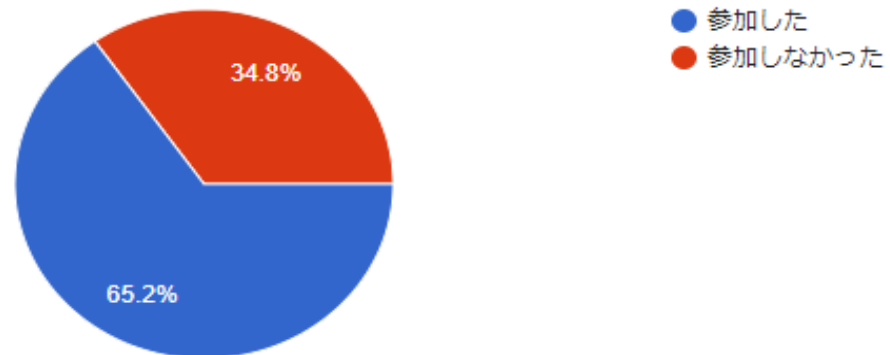
### 3. 参加プログラムを知ったきっかけは、何ですか？

※複数回答可

大学のウェブサイト(又はTwitter)を見た	10人
Departure (立教大学留学案内の冊子)を見た	8人
保証人(保護者)から聞いた	5人
国際センターの窓口で聞いた	5人
友人(知人)から聞いた(参加したことがある友人・知人がある)	4人
大学からのメール	1人

### 4. 2019年7月1日(月)の春季英語研修説明会に参加しましたか？

23件の回答



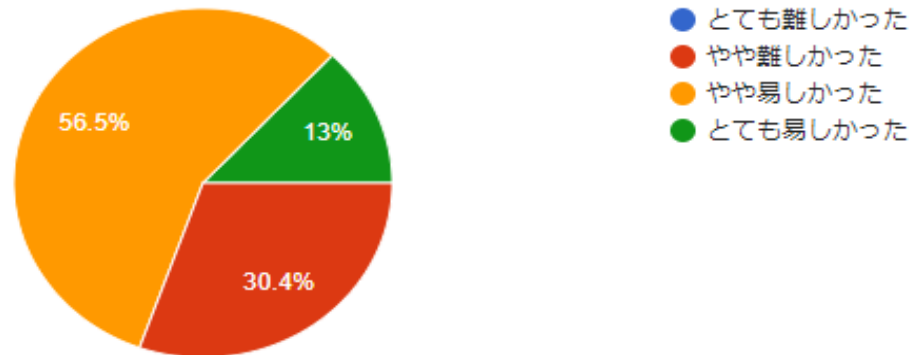
## 5. 本プログラムへの参加を希望した理由は何ですか？

※複数回答可

研修内容(授業内容)が魅力的または興味があった	13人
ホームステイを試みたかった	12人
研修先大学のある場所(国)が魅力的または興味があった	11人
研修中の課外活動が魅力的または興味があった	10人
時期、期間がよかった	10人
長期留学をする前に短期研修に参加したかった	10人
研修先大学のある場所(国)が治安がよい	6人
単位が認められる	6人
保証人(保護者)にすすめられた	2人
英語を勉強したかったから	1人
生の英語を学びたかった	1人
語学力向上のため	1人
費用が安い(妥当である)	0人

## 6. プレイスメントテスト (クラス分けテスト) について

23 件の回答



**7. プレイメントテストは、どのように行われ、どのような問題が出題されましたか？**

スピーキングテストのみ

試験管と会話をした後、台紙を見せられ、出されたお題について英語で話す。

スピーキングテスト、簡単な日常会話

自分の趣味やもし自分の一部を変えられたらどこを変えたいかなど幅広い問題

先生と一対一の対話で、自分のことを聞かれた。また、写真を見て英語で説明する問題が出された。

簡単な会話

1対1のスピーキングテストのみ ハワイで何がしたいか、絵を見て説明するなど簡単な問題

先生と一対一で英語の質問をされた。日常生活のことや日本のことについて質問された。

NICE programのスタッフの方と一対一で英語でトークをしました。具体的な内容としては、自分のこと(大学や将来、ハワイでしたいこと、なぜ申し込んだかなど)や日本のことについて話しました。最後に絵を見てその内容を伝える問題が出されました。

先生との対話(軽い自己紹介や学部、学科を選んだ理由など)

面接、出身地のことや将来のことについて

先生と一対一で会話し英語力を測る試験

先生と1対1で、5分程の会話

教師との会話と絵を見てその絵について説明させ、その出来でクラスが分けられた。

簡単な英会話とイラストを見てそこに出ている人の行動を答える英検の二次試験ような問題

先生の隣に座り、英語で簡単な会話をした。プログラムに参加した理由、ここでやりたいこと、将来やりたいことなどについて聞かれた。また、先生に対して質問をする時間もあった。

先生に質問されるだけで特に問題が出題されるわけではなかった。

1-1で先生と会話をしました。ハワイや自分の大学生活に関して、大統領に関する質問もされました。

ハワイ大学内のホールで、大学の先生と1対1で横並びに座って自分自身のことや短期留学中にしたいこと、人生で一番印象的だったことについて聞かれた。ホールの中には私以外の他の生徒の方も同じようにテストを受けていた。終始リラックスした雰囲気です。テストというよりは会話を楽しむように思った。

教師と一対一で、普通の会話や絵を見て答える問題

面接形式で東京のおすすめの観光名所などを聞かれた

先生との会話をするもので、簡単な自己紹介や日本のことについて尋ねられました。

大教室に1人ずつ呼ばれ、教員と生徒一対一で行われた。内容は教員により様々で生徒個人に対する質問や、四コマの絵を英語で説明させられる等である。

先生との会話

**8. 自分のクラス（レベル）の名前は何か？**

アドバンスドクラス

advance

High intermediate

high intermidiate

intermediate

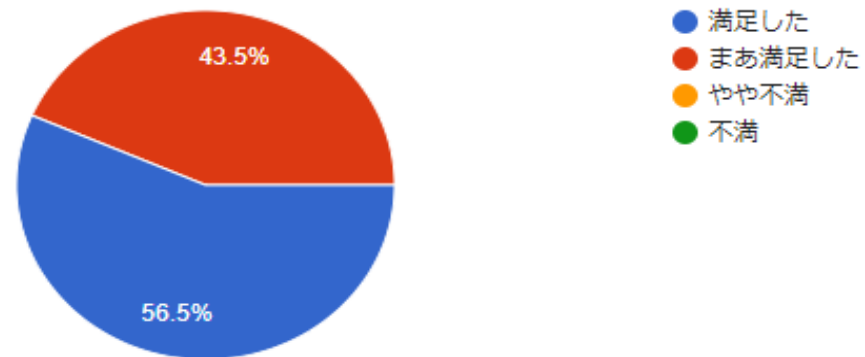
ハイベーシック

High Intermediate Level

Intermediate level
High intermediate
High Intermediate
上から4番目
high basic
ハイベーシック
intermediate
High intermediate level
Intermediate
Advanced
Advance
high basic
中級
Intermediate
Intermediate
intermediate

### 9. クラスのレベルについて

23 件の回答



10. クラスは自分を含めて何人でしたか？

15

15

16

16

16

15

16人

16

16

16

18

15

15

16人

16

16

15

15

15

15

16

16

18人

11. クラスに立教生は（自分を含め）何人いましたか？

4

4

6

6人

3

1

6人

4

6

6

3



3
3人
4人
6
4
4
4
3
2
4
3
2人

**12. クラスには、立教生の他にどのような国・学校の人が何人参加していましたか？**

韓国人の子 関西、九州の子が多かった
韓国、京都女子、西南、中央
日本人のみ 中央や西南
日本人のみ、中央大学、龍谷大学、京都女子大、芝浦工業大学、西南大学
中央大学、日本大学、西南女子
日本の各地の学校(九州、関西、関東)から自分を含め15人
日本 ・中央大学 ・京都女子大学 など
日本/中央大学、西南学院大、日本大学、龍谷大学、京都女子大学
中央大学、京都女子大学、西南大学、芝浦工大
全員日本人。中央 4人、日大 1人、龍谷 1人、京都女子 1人、西南学院 3人。
福岡県
全員日本人 中央大、西南学院大、龍谷大、日本大、大妻女子大、京都女子大、高校生
日本人のみ。 日大、龍谷、西南、中央、高校生
中央大学、日本大学、関西の大学、九州の大学
中央大学4人、西南大学2人、日本大学1人、京都女子大学1人、芝浦工業大学1人、龍谷大学1人
中央大学、日本大学、京都女子大学、龍谷大学、福岡県内の大学
韓国の子が2名、関西や九州の大学の子が6名、中央大学の子が3名参加していました。
韓国からの短期留学生 2人(ソウルと釜山から1人ずつ) 日本からの短期留学生 13人 (中央大学 2人、京都女子大学 1人、西南大学 1人、龍谷大学 1人 など)

中央大学、西南大学、龍谷大学

全員日本人。中央大学、龍谷大学、西南学院、日本大学など

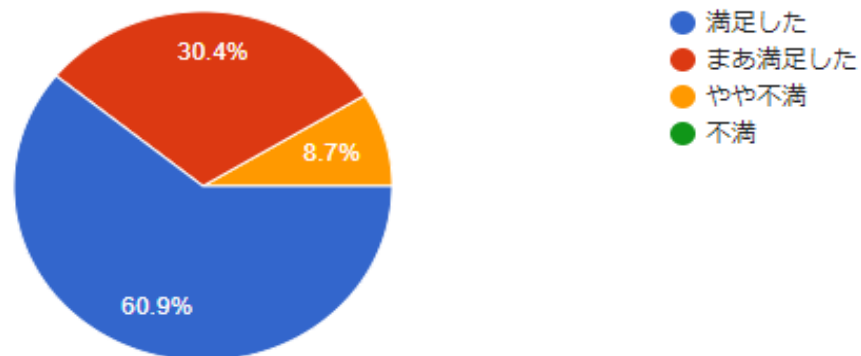
全員日本人で、中央大学や龍谷大学などの人たちでした。

全員日本人、西南学院4人、日本大学4人、中央大学3人、大妻女子大学1人、社会人1人

日本人

### 13. 授業内容について

23 件の回答



### 14. 授業はどのように進められ、どんな様子でしたか？

一日ごとに目標、テーマがあり、先生がそれにそった課題、内容の授業を進めていく。

みんな、すごく真剣に課題に取り組んでいたことが印象的だった。

ディスカッション、ロールプレイなど

ディスカッションが多かった

ディスカッションがほとんど。

グループワークなど

基本的にスピーキングを重視した授業内容で前日の振り返りから始まり、その日のお題について少グループまたはクラス全体で話し合う 和気あいあいとして笑いが絶えないクラスだった

常に英語でコミュニケーションをとる授業だった。

“English only“ は絶対で、先生がお題(ハワイの文化に纏わるものが多い)を持ってきて、それについて話し合いました。ハワイ大学生と話すinterchange やハワイ大学生へのインタビュー、チームプレゼンテーションなども特徴的でした。

先生に出されたお題について英語で会話することがメインで、発音や、その他単語やverbal phraseなど文法的な授業も行なった  
英語での会話や説明、現地の大学生との対話、課外活動もあった。最後に簡単なプレゼンをした。  
先生がプリントを作ってきたり、アクティビティで訪れる場所を英語で理解したり  
ハワイの文化についての学習を中心に英語ディスカッション  
立教でいうディスカッションに近い授業だった。教師から出された課題に対して全員で話し合ったり、プレゼンをしたりした。  
英語のみで、ディスカッションのカジュアルな感じで、クラスの間も授業に溶け込みやすい雰囲気だった  
それぞれのクラスに先生が1人付き、その先生がプリントやパワーポイントや映像作品を使い、会話や単語、英語特有の表現、文法について授業を行った。  
英語だけで会話、授業が進行されてハワイ大学の生徒と会話することもあった。

先生と会話をしたり生徒同士でディスカッションをしながら進められました。授業中、皆積極的に発言をしており、休み時間も教室内では常に英語で会話をしていました。  
学びたいテーマについて最初の授業の際にアンケートが取られてその結果に基づいて授業が進んでいった。生徒同士で2人~3人のグループで話し合う機会が多く、生徒が主体的に楽しみながら話しているように感じた。先生が質問した時は、時々シーンとなってしまいうこともあった。  
円滑であり、まじめな雰囲気  
講義形式とグループワーク、ペアワークがメインでたまにアンケート調査などを大学内で行った。先生が間違ってもいいからとにかく英語で話すように言っていたので英語を話しやすい環境だった。  
英語を使ったゲームやことわざ、ハワイの文化などを学びました  
自分のクラスではハワイの文化やハワイ語の勉強を先生主体で進められた。みな集中していて良い雰囲気勉強できた。  
discussionと講義

### 15. よいと思った授業内容について

英語の丁寧な言い回しを学べたことや、実際の生活でよくある場面を想定した授業は、とても役に立ったと思う。  
ロールプレイで習った単語を使うこと  
話し合いが多くて楽しかった  
現地の生徒とのディスカッション  
最後のプレゼン  
interchangerとの会話練習とクラスアクティビティ  
ハワイ大学の生徒と1つのトピックについて意見を出し合う授業。  
Interchange  
英語でのディベート  
現地の大学生との交流、課外活動  
英語で書いてある、真珠湾パンフレットをグループになって担当のところを解説した  
休み時間も含め教室内では英語を話すルールが良いと思った。  
週に2回、現地の学生と少人数で会話する時間が設けられていたので英語をたくさん使うことができたこと。  
インターチェンジの授業  
ハワイならではの、ハワイの文化や言語を学ぶ授業や、自分の英語力を使ったインタビューなど  
コメディ作品を見てフレーズを何度もシャドーイングする授業は良かったと思う。自分で英語を勉強する際に参考になると思った。  
インターチェンジの授業は楽しかったし、ハワイの文化や観光地を聞き出せた。  
ハワイの文化や歴史について

クラス全員で円になって自分が宿題として調べてきたことを話したり、プレゼンテーションの発表をしたりと人の前で話す機会が多く設けられていたこと。日常のシチュエーションに合わせた会話をパートナーと作り、それに合わせた声のトーンやジェスチャーを考えて発表したこと。

キャンパスの人に質問

最終プレゼンはそれぞれがユニークにできておもしろかった。

ハワイの言葉を学んだり、実際に街に出て体験学習をしたこと

初日にお金の計算方法を丁寧に教えてくれたこと。

discussion

## 16. 改善してほしい点について

一番上のクラスだったが、できる人と出来ない人の差が大きかったため、もうすこしレベルを細かく分けてもいいのかなと感じた。

特になし

日本人しかいないのでややつまらなかった

特になし

特になし

授業内においてももう少し現地の学生と交流を持ちたかった

特になし。

Interchange の時間をもっと増やしてほしいです。

特になし

授業開始時間が微妙。朝からにするかもう少し遅らせてほしい。

ハワイ語を学んでも英語力向上にはならないと思う。もっとそこを重視して欲しい。

授業の時間が12:30~16:30だったが、午前中に授業があった方が放課後を利用し、より効率的に現地の文化に触れられたと思う。

講義では学生同士で話をするのが多いため、ネイティブ話をする機会をより増やしてほしい。

特になし

先生は1クラスにつき1人ではなく、複数いた方が良くと思う。

到着する曜日を土日にすれば、ホストファミリーも余裕を持って生徒を迎えに行くことができ、バスパスの購入もスムーズにできる。

なし

先生と話す機会が少なかった点。

宿題が毎日出る点

他のクラスはゲームとかを挟んでいたが、自分のクラスでは3週間ずっと同じテーマでの授業だったため、少しマンネリ化していた。

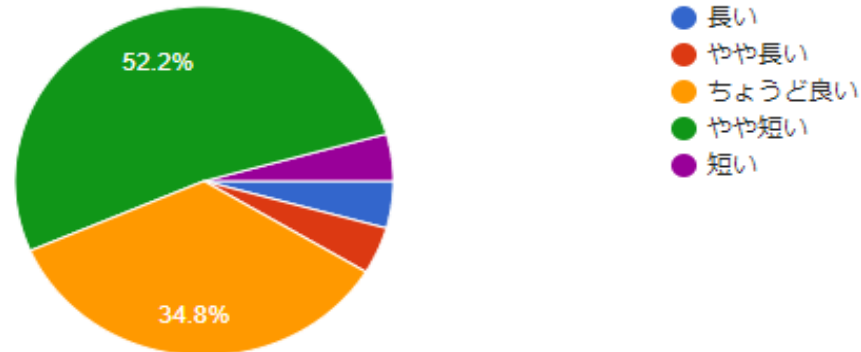
12~16時だと観光などをする時間はあまりないこと

ハワイ語はあまり役に立たないので英語に力を入れる方が良く思った。

授業で取り扱うテーマがずっと一緒

### 17. 研修期間（3週間）について

23 件の回答



### 18. プログラム中の課外活動（学内外での授業以外の活動）について

参加者23名中

Makapu'u Hike (optional) (2/8実施)	19人
Off-campus Educational Activity with Class (2/10・2/17実施)	21人
Hawaiian Hula Workshops (2/11実施)	23人
UH Men's Basketball Game (optional) (2/13実施)	14人
Whale-watching Cruise (optional) (2/15実施)	20人

### 19. プログラム中の課外活動（学内外での授業以外の活動）の内容と感想、良かった点、改善してほしい点など

実際に学校の外や大学の学生に積極的に話しかけられる機会があって、自身がついた。

ウォールアートを見たり、映画を見た

マカプーハイクやホエールウォッチング

自分ではなかなか行かないので楽しかった

月曜日は授業ではなく、クラスでダイヤモンドヘッドに登るなどした

特になし。

どれも個人では手が出にくい場所だったので、良かった

ハワイの自然に触れる機会を持つことができ、雄大な景色を見ることができて貴重な経験となった。また学外で現地の人と会話することができたことが良かった。課外活動について改善点は特に見当たらない。

すべての課外授業が本当に充実していて楽しむことができた。
どの課外活動も素晴らしかったですが、basketball gameは普段見るのでできない海外選手のプレイを生で見れ、刺激的な体験でした。ハワイ大学生とのスポーツ交流のようなイベントがあったら面白いかなと思いました。
全て参加して良かったと思います。とてもいい思い出になりました。ただOff-campus Educationは私のクラスは先生が独断で決めたのですが、他クラスでは自分たちで決めているところもあり、どちらか一日でも生徒が下調べして行く場所を決められたらなあと思いました。
ハイキングにいたりフラを踊ったりどれも貴重な体験ができた。
クジラウォッチングは生存確認というレベル。もっと間近で見かけた。その割に高い。
特になし
プログラムに参加して良かった点は人との出会いが増えたこと。特に他の大学から来た学生や、プログラムに参加していたインターチェンジャーと仲良くなった。
私たちのクラスは月曜日のアクティビティはパールハーバーと、ホノルルの街を巡る？アクティビティでした。パールハーバーなどは観光ではいけないと思うので、そういう場所に行けたのはよかった
フラのワークショップはとても楽しかった。ダンスだけでなく、振りの意味やそれに関するハワイの歴史や文化を学ぶことができて良かった。バスケの試合やクジラを見ることも普段なかなか無いことなので良い機会だったと思う。
どの課外活動もハワイらしくハワイでしか体験できないもので楽しかった。
どのアクティビティも楽しめて良かったです。
プログラムの一環としてオプションアクティビティがなかったら、自分では経験しなかったようなことも多く参加してよかったと思った。Makapu'u Hikeは大学からMakapu'uまでスクールバスに乗りハイキングを楽しんだが、途中で急に雨が降ってきてずぶ濡れになった。Off-campusでは1回目はカカアコのウォールアートを見に行ったり、SALTという施設に行ったりして先生からの与えられた課題をこなした。Hula Workshopsでは大学にフラダンスの講師の方が来てくださってフラについてや踊り方を教えてくださった。バスケットボールの試合を見たのは初めてだったが、プラスバンドやチアダンス、会場の熱気などアメリカの大学の試合という思い描いていた光景そのままという感じがして楽しかった。21時過ぎまで試合がつづくのでホームステイ先が大学から遠いため友達で参加できなかった子もいた。Whale-watchingはクルーズ船に他の乗船客の方と共に乗船してクジラを見た。5回以上クジラを見ることができ親子クジラも見ることができてとても貴重な経験をすることができた。良かった点は友達や先輩と課外活動を通して仲良くなった点。改善してほしい点は特になし。
自分の知らない文化を知れて刺激を受けた
全部楽しかった。ただ、ホエールウォッチングは集合場所が治安悪かったり、最初現金での支払いと言われていたがカード払いになったので注意が必要
フラやハイキングなど、ハワイの文化や自然にたくさん触れることができて良い経験になりました。旅行で行った時はあまりやらなかったことにチャレンジできたことが良かった点だと思います！
どれも他の大学の生徒と交流を持つ良い機会になり、とても有意義だった。
文化を感じられてよかった
<b>20. Interchange (ハワイ大学の学生との交流)の内容と感想、良かった点、改善してほしい点など</b>
生の英語を聞くことができ、本当に色々なフレーズを使っているんだなと思ったのと同時に、そのフレーズをホストファミリーと話すときに使ってみたりして、本当に生きた英語を学べた良い機会だったと感じている。
日本に関心のある学生と話すため話しやすかった
地元の学生の生の声を聞くことができて新鮮だった
トークテーマがやや難解だった
すごく面白かった。現地の生徒は頭が良くて、指示されたトピックが難しくても単語の説明などを先生のようにしてくれた。
現役の学生の声を聞いてよかった

やはりこれが大きな経験となった。クラスは日本人で構成されるため、ネイティブな英語と触れ合える貴重な機会となった。内容は回ごとにお題が与えられ、それについて話すものだった。しかし日本人複数に対してinterchanger1人なので触り程度の会話しかできなかったことが改善点として考えられる。

ハワイ大学にはさまざまな国の生徒がいるため、多くの国の考え方や文化を学ぶことができた。

ネイティブスピーカーと交流することで自分の英語力を見直せることができ、良かったです。もっと時間を増やしてほしいです。

先生が提示した議題について話し合いました。1つの議題でもやはり日本の考え方とは大きく違い、とても面白かったです。

いろいろなトピックについて話した。文化の違いを学べた。

ネイティブと話せてよかった。発音が全然違うことに気付かされる

人によって早く話す人や話を広げてくれない人がいたので、聞き取ることや会話が大変だったこともあったが、それにより、もっと自分の英語力を高めなくてはいけないと感じさせられた。

良かった点は、現地の人と会話をする機会を貰えたことと、インターチェンジャーと仲良くなれたこと。改善してほしい点は、授業以外で楽にインターチェンジャーと話す機会を増やしてほしい。

日常的な会話や、授業のアドバイス、ハワイの生活などを話しました。現地の自分たちと同世代と会話できる機会もなかなかないので嬉しかった

クラスが日本人のみで構成されているので、現地の学生と話す機会が設けられていたのはとても良いと思った。日本とハワイの文化の違いなど、毎回異なるテーマについて学生たちと話した。

学生は皆私たちに絶えず話題を振ってくれてたいくつ集つことのない一時間だった。

様々な学生と交流出来て良かったです。

ハワイ大学の学生1人に同じクラスの短期留学生2~3人で、日常会話や先生から与えられたテーマについて話し合った。Interchangerの方からオススメのアプリやレストランを教えてもらえて有難かった。良かった点は話し合うテーマは与えられていたが、自由に話し合うことができた点。改善してほしい点は質問→答える、質問→答えるというように感じて日常の会話というよりはインタビューというように感じた点。

実際の英語に触れられる機会が、とても力になる内容だと感じた

食べ物や学部などのテーマがあってそれぞれについて雑談みたいな感じで行われた。おすすめのレストランなども知れて楽しかった。

ハワイ大学の学生さんとインスタを交換できたり仲良くなれて良かったです。会話のお題や質問などを書いたカードを先生が配ってくれた回があり、その時は話題に困らずとても良かったです。

現地の学生との交流を通して、様々な価値観に触れることが出来、自分自身の視野も広がった。

ハワイ大学の様子や生徒の雰囲気が感じられたのと、普通の雑談をできるのが良かった

## 21. 自由時間（放課後、週末など）について

ワイキキに行って、花火を見たり、ショッピングに出かけたり、疲れた日はそのまま帰ったり、いろいろだった。

自分の好きなように過ごせたのが良かった。

買い物

午前中遊び、放課後はすぐに家に帰った

週末は主に観光地へ行った

いろんな観光スポットを巡った。

ショッピングやビーチや美術館に行った

ハワイは豊富な自然をはじめとして、アート、ショッピングなどレジャーに富んでおり、3週間あっても飽き足りないものだった。ワイキキビーチはもちろん、ハナウマベイなど複数のビーチに行った。またショッピングはアラモアナ、ワイキキを中心に回った。金曜日には花火を見ることができ、プログラムでできた友人と見に行った。またカカアコアートなど現地で育まれた文化に触れ合うことができた。

朝活をしてから学校に行き、学校帰りにもクラスメイトと買い物などをした。

週末は少し遠いところに友達やホストファミリーと行った。

有名店や伝統料理が食べられるお店でランチやディナー・ショッピング・ビーチ・プールなど
ワイキキやアラモアナセンター、ワイケレアウトレットへショッピング、家の近くのビーチまで散歩、家が大学や市街地から遠かったため、授業のある日はあまり活動できませんでしたが、少し早めに学校へ行って学食でランチしたりUH生らしい生活をしました。
友達とアラモアナやワイキキでショッピングしたりカフェに行った。いくつかビーチにもいった。
家が遠く、アラモアナセンターからのほぼ最後のバスは19時だったため、学校帰りに1時間アラモアナかワイキキによってスイーツ食べたりショッピングしたり、サンセットを見た。
ホストマザーが何をしたり、どこに行くのが良いか提案してくれた為、よりローカルなイベントを見ることができた。
ビーチやショッピングに行ったり、ホームステイファミリーと遊んだりした。
ホストファミリーと過ごしたり、ワイキキや、アラモアナでショッピングをしたり
授業前や授業後は友達と観光をした。休みの日は、友達と遊びに行くことも多かったがホストマザーが車で案内してくれることもあった。夕飯は基本的にホストファミリーと一緒に食べ、その後は会話をしたりカードゲームをしたりして過ごした。
昼に授業があったため大体朝にカフェや大学構内に来るキッチンカーで朝食または昼食を取り、放課後にはアラモアナショッピングセンターに行った。週末はホストマザーが自分の娘の家に連れて行ってくれたり、ダイヤモンドヘッドに登頂したりした。
ショッピングやカフェ巡り、海に入ったりしました。
午後から授業だったので、午前中にワイキキや大学周辺のお店に友達と行った。ホームステイ先から大学まで徒歩30分程だったのでホストファミリーとの夕食前に近所のお店や大学構内を散策したりした。日の出を見るために朝早くにワイキキ・ビーチに行ったり、金曜日にワイキキのヒルトンホテルのビーチであがる花火を観に行ったりした。週末は、土曜日に課外活動があったのでその後にワイキキを散策したり、アラ・モアナショッピングセンターやワイケレのアウトレットに行ったりした。日曜日は海に入ってSUPをしたり買い物をしたりと自由に過ごした。夜ご飯を外で食べる時はホストマザーに2日前に伝えるようにしていた。
ショッピング、ビーチに行くなど
宿題、食事、観光、買い物など。基本治安が良くて一人でも外出できるが、ホエールウォッチングの集合場所に近くて真珠湾に行く時に通る中華街の辺りは治安が悪くて要注意。
ホームステイ先のルームメイトの立教の子と、授業前の午前はお昼ご飯を兼ねてパンケーキなどの美味しいものをたべたり、16時以降は買い物にいたり花火を見たりして過ごしました。ハワイをたくさん楽しめたと思います！
学校と家がとても遠かったので放課後はほとんど何も出来ず最悪だった。週末は友人と観光に行った。
サーフィン



22. 滞在したホストファミリーの名前(姓)は何ですか？	23. ハワイ大学マノア校への通学手段、時間、費用	24. ホストファミリーでは、どのような部屋に滞在しましたか？(複数回答可)	25. 滞在した部屋について
Rovner	バスで80分	もう一人の立教生と同じ部屋を使った	ベッド2つ
Max Rol	バスで約30分 1ヶ月70ドル	もう一人の立教生と同じ部屋を使った	ベッド、ダンス、クローゼット
ROL	約30分	もう一人の立教生と同じ部屋を使った	ちょうどいい広さ
MIZUUCHI	バスで15分程度、一か月期間使えるバスカード70ドル	もう一人の立教生と同じ部屋を使った	ベッド2つとロッカーがあり十分な広さだった。
Suzuki-Jones	バスで20分、徒歩で35分	もう一人の立教生と同じ部屋を使った	ベッド二つ、ダンス一つ、クローゼット、勉強机一つ
Rovner	バスと徒歩で片道1時間30分ほど、1ヶ月the Bus 乗り放題の定期が70ドルでした。ホストファザーの都合のいい日は車で送迎していただき、片道30分ほどでした。	もう一人の立教生と同じ部屋を使った	ベッドが2つ、ベッドの間にサイドテーブルが1つ、クローゼット、ダンスが1つ
Bungcayao	バスと徒歩で1時間、バス定期70ドル	もう一人の立教生と同じ部屋を使った	2人で十分な広さ。ベッド、机、棚、全身鏡など。
Wang	バスと徒歩で30~40分、1ヶ月の乗車券70ドル	もう一人の立教生と同じ部屋を使った	高層マンションの32階、リビング、バスルーム、自室(ベッド2つ、テーブル1つ)
Sumukuti	バスと徒歩で1時間	一人で部屋を使っていた	ベッド、勉強机の他に、スーツケースを広げられるスペースがあるぐらいでした。洗濯物を干せる竿のようなものはありました。
Kurihara	バスと徒歩で40分、費用は70ドルで乗り放題の券を買った。	もう一人の立教生と同じ部屋を使った	5畳程度、ベッドと机といす
Ortega	バスと徒歩 1時間弱 1ヶ月無料券で70ドル	もう一人の立教生と同じ部屋を使った	もう一つの部屋がとある事情で使えず、1人部屋にベッドを二つと箆笥一つ、クローゼットと、机を広げるスペースもなく、結構狭め
Yamamoto	バスと徒歩で1時間半弱	もう一人の立教生と同じ部屋を使った	扇風機はあったがエアコンはない。鏡、ダンス、棚、クローゼットあり。
Wang	バスで20分~30分、バスパス費用が70ドル	もう一人の立教生と同じ部屋を使った	8畳、ベッドが2台、共用の机(物置用)、クローゼット
YAMAMOTO	バスと徒歩で1時間30分くらい、最初に定期を買ったので日毎の費用は分かりません。	もう一人の立教生と同じ部屋を使った	十分な広さでした。ハンガーが大量にあり、便利でした。棚等も自由に使えました。
Keith	徒歩30分 バスと徒歩20分 2月分のThe Bus乗り放題定期券(70ドル)購入	もう一人の立教生と同じ部屋を使った	ベッド2、サイドテーブル・照明2、天井照明1、カーテン、ダンス1、タオルセット2、ハンドソープ、ティッシュペーパー、トイレトペーパー 洗面台、バス・トイレ別(私ともう一人の立教生専用)

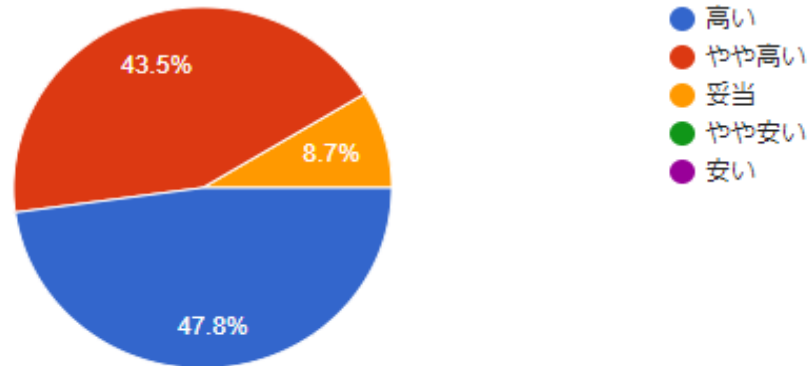
mizuuchi	バスと徒歩で20分ほど、30ドルほどのバスの定期券	もう一人の立教生と同じ部屋を使った	普通の広さ、ベッド、収納、クーラー、勉強机
Dang	バスで30分程度。最初に70ドルぐらいのthe busの定期を購入	もう一人の立教生と同じ部屋を使った	ベッド2つ、テレビ、棚、机など。広さ大きさともに十分だった。
Bungcayao	バスで1時間、1ヶ月のバス定期代70ドル	もう一人の立教生と同じ部屋を使った	二段ベッドでした。広くはないけれど困りはしない感じでした！
Keith	徒歩30分弱	もう一人の立教生と同じ部屋を使った	ベッド2つ、洗面台、トイレ、シャワールーム
オルテガ	バスと徒歩で1時間半、3週間70ドル	もう一人の立教生と同じ部屋を使った	1つの部屋に2つのベッド、ダンス等とても狭く感じた。
Dang	バスで20分	もう一人の立教生と同じ部屋を使った	広く清潔で快適
John-Suzuki	バスで30分、1か月パスで70ドル	もう一人の立教生と同じ部屋を使った	8畳くらいで、ベッド、クローゼットがあった
Kurihara	バスで40分	もう一人の立教生と同じ部屋を使った	二段ベット

26. ホストファミリーの家族構成	27. ホストファミリー宅での時間の過ごし方（平日・週末）、印象に残ったこと、感想など
ホストファザー、ホストマザー、犬2匹、亀	毎日美味しいご飯が出た
夫婦と息子	特別どこかに出かけたりはしていませんが、ご飯は毎晩用意してくれ、それ以外はかなりフリーな感じでした。
両親、息子	夕食は頻繁に外食に連れて行ってくれた
ホストマザーの息子、娘と娘の家族、孫は3人いて男の子1人、女の子2人	自分たちは離れて過ごさせてもらった。基本的には学校から帰ってきて作っていただいたご飯を食べてお風呂に入って寝るという毎日だった。ごはん際にはホストファミリーの方々と会話をする機会があった。最初のうちは戸惑うこともあったが最後になるにつれて会話を楽しむ余裕も出てきた。印象に残っているのは自分たちが肉じゃがを作った際に家族みんなでおいしそうに食べてくれているのが嬉しかった。また最後の最後に孫の男の子と卓球で交流できたことができた。もっと交流したいという気持ちがどんどん強くなった3週間は短いという印象だった。
祖母、父、母、娘3人	家族全員と話をしながら夕飯を食べる時間がすごく楽しかった。
お母さん、お父さん、犬2匹、亀1匹、娘や息子はそれぞれ独立、または本土の大学に通っており家にはいませんでした。	夕食は全員で一緒に食べ、1日あったことの報告や日本での生活などについてお話ししました。夕食は料理がカウンターに並べられ、自分で好きな量を取っていいよと言われました。とても美味しく、毎晩のようにおかわりしました。週末は好きなどころに行っていていいよと言われ、ルームメイト(私、もう一人の立教生、一緒にステイしていた中央大学生2人)と街へ買い物へ出かけました。送迎の車内でもよく会話しよく笑いとても楽しかったです。
ホストファザー、ホストマザー、息子1人、娘4人、うち1人が旦那と子供2人、もう1人が旦那と、犬3匹	ご飯がおいしかった。ハワイ料理だけでなくアジア料理も作ってくれた。家族みんなとても明るくフレンドリーで毎日楽しかった。旅行好きな家族なので他の国のことをたくさん話してくれて勉強になった。
ホストマザーのみ	毎日美味しい朝ご飯と夜ご飯を用意してくれた。特に一緒に出かけはしなかったが行くべきところをたくさん教えてくれた。
ホストファザー、マザー	授業が12時30分から16時20分までということもあり、通学時間ランチの時間を入れるとを入れると9時50分～18時30分頃までは別の場所に行くというのは難しかったため、平日はほとんど直帰して家で宿題をしたりホストファミリーと会話したりして過ごしていました。お昼ご飯は学食で食べたりしてました。休日は、友達と観光地に行き、夜の7時を過ぎると帰るバスがほとんどなくなってしまうため、5時ごろには帰途に着いていました。休日は夜ご飯は、半分、外、半分、家という感じでした。
父、母、子供5人	子供たちとバスケットボールやサッカー、ラグビーボールでキャッチボールをした。週末は家のプロジェクションマッピングで映画を見た。1番印象に残っていることはホストファミリーとトランプで遊んだことである。
ホストマザー、ホストファザー、その娘さんと旦那さんと、その子供たち2人 週末には他のホストマザーの子供、孫、犬が遊びに来ている ホームステイ情報に載っていた人物とホストマザー、ホストファザー以外の情報が全員違っていた ホームステイ情報に載っていたのは、週末遊びに来る家族のだった	リビングで会話をしたりした
ホストマザー、ホストファザー	平日は学校から早く帰れば海へ連れて行ってくれた。最後の日曜日、バスでは行けない遠いところまでドライブしてくれた。

母と犬	いつも8時頃に朝食を食べて9時に出発し、午後8時までには帰宅して夕食を取ってお風呂に順番に入った。入浴時間は他の学生が待っているためなるべく短くした。ホストマザーの部屋に自分用のバスルームがあったため気を遣うことはなかった。ベジタリアンのホストマザーだったが、私たち学生のために肉や魚を使った料理を作ってくれたことがとてもうれしかった。
常に家にいるのは老夫婦でした。	ホストファミリーと海辺でご飯を食べたことが印象に残っています。
ホストマザー、ホストファーザー、ホストマザー・ファザーの娘さん、娘さんの婚約者、犬2匹、ホストファミリーからお部屋を借りている家族、お部屋を借りているハワイ大学で日本語教師をしているアリゾナから来た女性、お部屋を借りている日本人の女性	朝ご飯は自分たちで自由に食べてねと言われていたけれど、毎日ホストマザーがキッチンにいてくださってパンを焼いてくれたりオムレツを作ってくれたりした。夜ご飯はホストマザーやホストファーザー、アメリカ人の女性、もう一人の立教の学生、中央大学の2人と一緒に食べた。日曜日にアカデミー賞の授賞式の放送があったのでホストファミリーと一緒にみんなで観たことが楽しかった。バレンタインデーにアメリカ人の女性と一緒にロリポップやクッキーを作った。私たちが日本に帰る前日にみんなでイタリアン料理のレストランに行ったのも良い思い出になった。私がAloha awardをいただいた時に喜んでくれて嬉しかった。ホストファミリーに本当に恵まれたと感じた3週間で、ユーモアがあって優しく愛にあふれた素敵な家族だった。
おばあちゃん、お母さん、お父さん、娘2人、息子1人、お母さんの兄弟	映画を一緒に見る、卓球を一緒にした、自分たちで肉じゃがを作った
母親と息子と猫。娘と犬が留学中。	食事の時間にコミュニケーションとってた。自分たちのためにおいしいお茶を大量に買っておいてくれるなど、すごく親切だった。
ホストファーザー、ホストマザー、その娘と息子計5人、娘2人の夫それぞれ2人、その子供2人	夕食を食べたあとなどに、毎日ホストファーザーやホストマザーとお喋りをしたことが印象に残っています。旅行が好きな家族で、ヨーロッパやアジアなど色々なところに行ったお話も聞いてとても楽しかったです。とにかく皆さんいい人で、日本っぽい食べ物を出してくれたり日本に行った時の写真を見せてくれたりしました！
父、母、娘、娘の夫。他にルームシェアをしている人が4、5人いました。	平日は夕飯をテラスで一緒に食べ、その後は会話をしたりカードゲームを一緒にしたりしました。また休日は車でホノルルを案内してくれたりしました。
祖父母、祖母の娘夫婦、その夫婦の子供2人	ホストマザーの娘が席が空いているのにも関わらずわざわざ自分たちと別のテーブルで食事をしていて、歓迎されていないのかと感じ、印象に残っている。
母と息子	息子の誕生会が印象的
父、母、祖母、娘3人（1人は本州）	毎晩できるだけ家族全員で夕飯を取っていたが、その時のホストファーザーの手料理が美味しかった。
父、母、長女、長男、次女、次男	子供達とバスケやトランプなどで遊んだこと

## 28. 費用について

23 件の回答



29. 食費について 研修中の食費に大体いくら (USD)使いましたか？	30. 朝食・昼食・夕食について、それぞれ、どのような場所で何を食べましたか？	31. 航空券、プログラム費用、保険、食費以外に現金・クレジットカードでそれぞれ大体いくら (USD)使いましたか？	32. 上記は何の費用でしたか？具体的に書いてください。
400	朝と夜は家、昼は学食	900	ショッピング代、お土産
3万円	朝、夕は家、昼食はレストラン	10万程度	お土産や自分の洋服やアクセサリなど
1日10ドルずつくらい	朝と夜はホストファミリー宅 昼は自分の好きなお店で食べた	10万弱	ショッピング代とお土産代
600	朝食は基本的に家で、早起きして外に出た際にはお店でパンケーキやポケ、アサイーボールやスタバなどで食べた。昼食は朝食と一緒のことが多かった。夜も基本的には家で食べたが、外食の機会も多かった。その際はガーリックシュリンプやロコモコ、ラーメンなどを食べた。家ではご飯が出たので日本食が恋しくなることはそんなになかった。	800	お土産、衣服、ジュエリー
60000	朝食→自宅(グラノーラなど) 昼食→学食や校外のカフェなど 夕食→自宅(手作り)	7万	お土産代 買い物代 アクティビティ代 交通費

200	朝食と夕食:ホストファミリーの用意してくださった食事を家で 昼食:UHの学食	1300ほど	お土産、オプションツアー、コスメ、服、不足した日用品など
270	朝食、夕食はマザーが作ってくれた。昼食はワイキキやアラモアナなど行きたいところにいった。	600	お土産、バス定期代、オプションツアー料、入場料
およそ200ドル	朝食 家でマフィンやワッフル、ベーグルなど用意されたもの 昼食 学食やアラモアナ、ワイキキ付近のカフェ、レストランでハワイの食べ物(ロコモコなど) 夕食 家で家庭料理 毎日米が出た	約800ドル	お土産代
約300ドル	朝食は、必ず家で食べてました。 昼食は、大学や大学付近のレストランなどに行きました。 夕食もほとんど家で食べてました。	200ドル	お土産代、洋服
350~400ドル	朝食は食べていない。昼食は、外食。夕食はホストファミリーの家で食べるが多かった。外食することもあった。	約900ドル	お土産代、移動費
200	朝ご飯と夜ご飯は基本は家、お昼は学校のフードコートや屋台	900ドル	お土産代、ショッピング代
200ドル	朝は家、昼は食堂やトラックのご飯、夜は大抵家。	60ドル	お土産
315ドル(15ドル/日)~420ドル(20ドル/日)	朝食は家でワッフルやパンを各自で焼いたり、ホストマザーがパンケーキと目玉焼き、ベーコンを焼いてくれる日もあった。昼食は家か大学の近くのカフェでパンケーキやロコモコ、ハンバーガーを食べに行ったり、大学構内に来るキッチンカーやカフェでアサイーボウルやスムージー、ポケボウル(海鮮丼)、ラーメンを購入し食べていた。夕食はホストマザーが用意してくれたものを食べた。たまにコストコやホールフーズマーケットで買ってきた出来合いのピザや総菜を食べることもあったが、ほとんど手作りだった。	現金は10万円、クレジットカードで5万円	お土産代と日々の食事代、チップ代、オプションツアー代
200	朝夕はホストファミリー宅、昼は大学のフードコートやカフェで食事をとりました。ホストマザーは日本食が好きで、よく日本食も作ってくれました。	合わせて1000ドルくらい	主にお土産代
大体6000ドル	朝食は日の出を見に行った日以外はホームステイ先で、チーズトーストやベーグル、シリアル、オムレツ、フルーツ、ヨーグルト、ジュース、紅茶。昼食は大学のカフェテリアや大学周辺、ワイキキ、アラモアナショッピングセンターのフードコートなどでポケやハンバーガー、スパゲティや日本食などを食べた。夕食は友達と外で食べることもあったが基本的にはホームステイ先で、ハワイアン料理やスパゲティやビーフストロガノフ、フルーツサラダなどホストマザーが作ってくれた料理を食べた。夕食の後には手作りのケーキや、ホストマザーが買って来てくれたスイーツ、アイスクリームを出してくれた。日本と同じようなお米を出してくれることが多く食事で困ることは一度もなかった。	現金約1000ドル、クレジットカード約1000ドル	お土産代、食事代、洋服代、アクティビティ代(SUP)、課外活動代
400	朝食は家、昼食は外、夕食は家で食べる時もあれば外で食べる時もあった	1400ドル	お土産、買い物

500	朝は家だったりカフェ。昼はレストランかカフェ。夜は基本家でたまにレストランとかフードコート。	基本クレジットカードで800ドルぐらい	お土産代、アクティビティへの参加費用、観光地での入場料、衣服、
500	朝食、夕食はホームステイ先で、昼食はレストランなどに観光を兼ねて行っていました	お土産を買いすぎてしまったので、1000ドルぐらい使ったと思います。	お土産代
100	朝食、夕食は基本的にホームステイ先で用意してくれたものを食べました。昼食は大学のフードコートで食べたり、友達とお店を探して食べに行ったりしました。	800	食費、お土産、アクティビティの費用、交通費など
200	朝食 家 昼食 カフェテリア 夕食 家	1000ドル	お土産代
300	朝食 家 昼食 外 夕食 家	1000	買い物
約300ドル	朝食:家、昼食:学食・レストラン、夕食:家・レストラン	約1000ドル	お土産代
200	朝食なし、昼食外食、夕食家	300	お土産、生活必需品の追加購入、現地で遊ぶ費用

33. 電子機器の使用など 日本から持参した電化製品	34. 持参すればよかったと思った電化製品	35. 不要だと思った電化製品
ヘア 드라이ヤー、ヘアアイロン、電子辞書	なし	なし
スマートフォン、パソコン、ヘアアイロン	なし	なし
携帯、パソコン、ドライヤー	なし	なし
スマートフォン、ノートパソコン	なし	なし
スマートフォン パソコン	なし	なし
スマホ、パソコン、ドライヤー、ヘアアイロン	なし	パソコンは、私のクラスではfinal projectに使用しましたが、使わないクラスもあり、またGoogleスライド、Googleドキュメントを入れることでスマホからやUHの図書館のパソコンを使うことでもパワポやワード作成は容易にできるので、あまりいらなかったかなと思いました。
iPhone、ドライヤー、ヘアアイロン、iPhoneの充電器	なし	ドライヤー
スマートフォン、モバイルバッテリー、ヘアアイロン	ドライヤー(風圧が弱かったため)	なし
ドライヤー、スマホ	USB	なし
携帯電話、ドライヤー、アイロン、モバイルバッテリー	なし	なし
スマホ、パソコン、ドライヤー、コテ、	なし	パソコン クラスによっては使うところもあったが、私のクラスは使わなかったの
ドライヤー、スマートフォン	なし	なし
スマートフォン、ドライヤー、携帯充電器、電子辞書、変換アダプター、変圧器、テーブルタップ	なし	変換アダプター、変圧器
iPhone、ドライヤーなど	なし	ノートパソコン
スマートフォン、電子辞書	ドライヤー、まだ持っていないがノート型パソコン(2つともルームメイトが貸してくれた)	電子辞書
スマホ、ノートパソコン、ドライヤー	なし	ドライヤー
スマホ、iPad、髭剃り、	なし。パソコン持ってきてる人いたけど使わなかった	なし
スマートフォン、一眼、ノート型パソコン、ヘアアイロン	なし	一眼、ノート型パソコン
スマートフォン、パソコン、ドライヤー、ヘアアイロン	なし	なし
スマートフォン、ノート型パソコン、ドライヤー、ヘアアイロン	なし	なし
スマホ パソコン	なし	パソコン



スマホ、ノートパソコン、ドライヤー、スマホバッテリー	ヘアアイロン	なし
スマホ、MacBook、充電器、イヤホン	アイロン	なし
<b>36. レンタルWi-Fiを使用した感想</b>		<b>37. 日本の家族、友人との連絡手段</b>
よかった		LINE
よかった。		LINE、Instagram
たまに切れるが、使いやすかった		LINE
通信が遅くて困ることはなかった。ホームステイ先でWiFiにつながせてもらっていたため家ではつけていなかったが、外で一日つけていても最大使用量の半分程度の使用量だった。		LINE
制限があるため使いすぎには注意する必要があると思った。		LINE
マップやわからない言葉を調べる上でとても役立ちました。		LINE
十分な量だった。GoogleMapをたくさん使用したがそれでも大丈夫だった。		LINE
人が多いところだと繋がらないことが多かったがその他は満足		LINE
4Gがどれくらいなのか分からなかったため、常に気にしながら使っていたのが不便だった。具体的に一日、何時間使うと4Gという説明が欲しかった。		LINE
とても使いやすかった		LINE
結構容量もあって、家と学校のWi-Fiも使えば、容量オーバーにはならないと思うし、容量面での心配はなかった		LINE
良いが自分が今いくつ使ってるのか全く分からず常に不安だった。		LINE
いつもフル充電で持っていないといつ連絡を取れなくなってしまうか分からず不安だった。SIMカードを変えた方がそういった不安は払拭されたと思う。		LINE
不便でした。		LINE
話を聞く限りSIMカードよりも便利だったように思うが、LINE電話しか使えなかったのが少し不便だった。		LINE
便利		LINE
少ない		LINE
表示が分かりにくく、4GBで制限が来るような表示になっていて焦りました(実際は4GBを超えても使うことが出来ました)		LINE、Instagram、Twitter
とても使いやすかったです。		LINE、Instagram
繋がらずらく、かさばるのでとても不便		Line
よい		LINE
残り何G使えるかがわかりにくかった。		LINE
良いが、他大学のようなSDカードの方が制限がないように感じた		LINE、Instagram

38. 危機管理 (研修中、危険な目に遭ったこと、避けたほうがよいと思った地域や時間帯など)

夕方のダウンタウン

なし

暗くなってからのダウンタウンやチャイナタウン周辺は危ない

夜のビーチで金をせがまれた。カハラモール近く、ダウンタウンは避けた方がいい。

ホームレス

ワイキキの外れのバス停でホームレスに絡まれました。とにかく無視し続けました。ダウンタウン、チャイナタウン周辺で昼にバス停に向かった際ですが、様子の怪しい人はたくさんいました。1人では絶対に行動しないほうが良い場所だと思います。また、少しだけですが日本人の少ない場所で車からコロナについて差別的なことを叫ばれたり、指をさされて笑われたりしました。またクラスメイトが2回ほどバス停で送ってあげるから車に乗らないかと知らない人に声をかけられたそうです。

ワイキキやアラモアナのビーチでホームレスの人にじろじろ見られた。自分たちの荷物を狙っているようにもみえた。

夜21時以降のバスは前の方に乗るべきだと言われた。

夜は8時頃から、注意した方がいいと言われた。また、バスがなくなってタクシーを利用したが(Uber含む)、一人で乗るのは危険だから、友達と乗りなさいと言われた。

夜遅くには1人では出歩かないほうが良い。バスで酔って黒人に絡まれた友人がいた。

夜はワイキキなども暗いし、学校の近くは夜はホームレスがいるらしいので気をつけた方がいい  
先生やホストマザーからはUberの利用を勧められたが、暴行事件などもあったので控えた

とくになし

1人で暗い時間には出歩かないこと、特にホノルルは暗い時間に出かけることは危険だと言われた。

夜は友達同士でもあまり出歩かない方がよいと思いました。

思っていたよりもホームレスの方が多かった。夜はバスにホームレスの方も多く乗っていると聞いていたけれど、昼間でも乗っている方は多かったように思う。同じホームステイ先の友達がアラ・モアナショッピングセンターよりも西側にバスを間違えて行ってしまったそうだが、ワイキキなどと雰囲気は違く怖かったと言っていた。バス停で待っていたら車に乗っていかないかと聞かれた人もいたと聞いた。

夜の市街地で発狂したお婆さんがいた

真珠湾を観光した後バスでホノルルに向かっていたら中華街で乗ってきた乗客に少し絡まれた(被害なし)。友達は中華街でホームレスに追っかけられた。ホストファミリーも中華街は治安悪いって言っていた。ただ、ホエールウォッチングの集合場所が中華街の近くなのでホエールウォッチング行く時は要注意。

ハワイで発砲事件があったというニュースを聞いた時は怖いと思いました。

特になし。

夜の1人行動は避けた方がいい

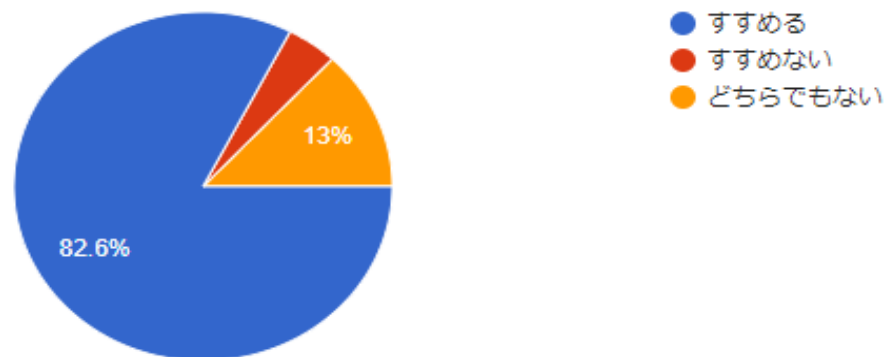
特になし

夜のダウンタウンはあまり治安が良くなかったため、学生だけでは行かない方がいい。

夜

### 39. 他の学生に、本プログラムへの参加を

23 件の回答



### 40. 上記の回答（「すすめる」「すすめない」「どちらでもない」）の理由を書いてください。

楽しかった

観光地だけあって美味しいレストランやお店があちらこちらにあって楽しかった。期間も短すぎず、長すぎずちょうど良い。

様々な経験ができる

多くのことを学べ、様々な交流があり、楽しくない日がなかったから。

自分にとって一生に残る経験になったから。

自分の英語のスキルアップをするとてもいい機会になります。また自信や積極性もつきます。

ハワイ大学のプログラムは最高だった。みんな親切でフレンドリーだった。また、ハワイには多種多様な人種がいるのでハワイ文化だけでなく多くの文化を知ることができる。

海外留学が初めての場合、3週間という期間はとてもちょうど良いと感じた。また、他校の友達や現地の学生と知り合えたり、たくさんの良い出会いに恵まれた。クラスメイトとは毎日一緒にいたため、良い関係にもなれた。別れるのが辛かったがとてもいい経験だった。

NICEプログラムの内容がとても役立った。

他の国の子と英語で話すという貴重な体験が出来た。生徒が日本人だけではないため、自然と頑張って英語を話すようになっていた。

異なった文化に触れることができ、たくさんの人と出会うことができる。また、3週間では話せるようにはなれないが、リスニング力は上がる。また、以前は勉強ととらえていた英語を言語、会話する手段としてより身近に感じるようになった。

英語を使って現地の人と同じ生活ができるというのは人生ではとても良い経験になるから

ハワイは日本人が多く、現地の人は変な英語に慣れてるので逆に話しやすくのびのびと英語が使えた
ハワイは移民が多いのに英語の癖は聞いたところ少なく、聞き取りやすく海外で英語を学ぶ最初の一步にちょうど良い場所だと思う。
生の英語に触れることが出来るから。
3週間の期間はとてもあっという間だったため、私と同じように短く感じる人もいるように思うから。私はこのプログラムに参加して本当に貴重な体験ができて良かったと思っただが、ホストファミリーに恵まれていたということも大きく、ホストファミリーと自分が合うかといった実際に留学してみないとわからない面が多いように感じた。また費用も他のプログラムに比べて高いのが友達に勧められるかと考えた時のネックのように思った。
英語に慣れる、その土地の文化に触れる、いろいろな人と交流できるという点でお勧めできるプログラムだと感じた
英語を話しやすい環境が整っていた。日本食もあるので体調管理もしやすい。
とにかく楽しい！他の文化を知ることが出来るし、ハワイの人はみんな良い人なので「すすめる」にしました！
語学力強化が目的ならおすすめできないですが、現地の文化を学びたい人や他大学に通う人との出会いを求める人にはおすすめします。
自分のホームステイ先は、片道1時間半かかりその時点でとてもストレスを感じた。学校の主催するアクティビティが夜遅くに終わった場合タクシーを使用させられたこともあり、他の人々に比べて時間的、経済的に不公平を感じた。上記に記載した通りホストファミリーもビジネス目的の雰囲気を感じが悪く、とても居心地が悪かった。この内容と分かっていたら絶対に参加しなかったし、参加したことを後悔している。
自信と経験につながる
気候が暖かく過ごしやすかったから。
とても楽しいし、思い出にはなったが、英語力向上を求めるならオススメしない
<b>41. 来年度参加者へのアドバイス</b>
荷物は少なめにした方がいいと思います
回りきれないほど、いいレストランがあるので行きたいところややりたいことなどをピックアップしておくといいと思う。また、授業が午後からなので、朝早く起きてサーフィンをしたり海に行ったり、ハイキングするのもいいと思う。
積極的に英語を使っていかないと3週間では話せるようにならないので、英語で話すことを意識すべき
そんなに構えることなく望んでくれたら自然に楽しく過ごせると思います。 日本から薬は持っていくと便利です。
悔いのないように楽しむ！
服はホストファミリーに事前に洗濯の頻度を聞くなどして最小限でよかったなと思います。シャンプーやトリートメントなどの日用品は現地でも買えます。3週間あるので普通サイズのシャンプーを持っていくと頑張れば使い切れるようです。ウェットティッシュ、サニタイザーがあると便利です。バスタオル、フェイスタオルは貸していただけましたが、課外活動用に1、2枚持っていくと便利だったと思います。あとは帰りにとても荷物が増えると思うので、初めから空のポストンバックを持ってくるなどすると2つに分けられて重量オーバーも免れることができ便利だと思います。
3週間は短いので計画を立てて行動した方がいい。 また、観光地では日本人が多いため日本語が聞こえてくるし、店員が日本語で話しかけてくることも多いので積極的に英語を使った方がいい。
ホームステイ先の方は受け入れに慣れている人が多いと感じたので、生活に関して不安を抱くことはあまり必要ないと思う。3週間は長いようであっという間だったので、朝や放課後の時間も有効に使って現地の文化に触れたり観光したりするべきだと思う。
USBはあったほうが良いです。
上着は持って行ったほうが良い。今の時期ハワイは雨期なので傘は必須である。
過ごし方でただの観光になってしまう危険もあるが、自由時間の使い方次第で本当に変わると思う
3週間は長いようで短いので、初日からアラモアナや海など行きたいところはどんどん行くべき。でも眠い時は思いきり寝る。9時間くらい寝ていた。

テーブルタップは複数人が同じ部屋に泊まる場合、とても重宝するので持って行った方が良い。私のホームステイ先はどの点においても素晴らしかったが、中には食事が合わなかったり、立地が大学からも観光地からも遠かったりなど本当に様々なので心して行く方が良いと思う。また、ハワイは観光地であるため日本語が話せるスタッフが多く、日本語で接客されることも多いが、めげずに英語で応答するようにすれば自分の英語が通じたという実感も湧き、スタッフも英語で話しかけてくれるようになる。もし日本語での接客をしてほしくないのであれば、観光地のカフェではなく構内の学食やレストランを利用するとよい。

持ち物としてはUSBが便利です。授業に関しては、常に英語で話すので、英語のCDを聴いてみるなどして、特にリスニング力を高めておくとうまいと思います。

ホームステイにおいて食べられないものやアレルギーなどは気を遣って言わないのではなくはっきりと伝えたほうが良いと思う。YES、NOがはっきりしていることも大切だと改めて感じた。感受表現を日本にいる時よりもはっきりしたり、感謝の気持ちもストレートに伝えたりするべきだと思った。自分の事は自分でするということが前提だった。自分のことや家族の話など笑顔で聞いてくれるので英語に自信がなくても積極的に話したほうがホストファミリーも喜んでくれると思う。

滞在中に口内炎ができて痛かったのでスプレータイプの薬を持参してよかったと思った。想像以上に日本食が恋しくなったので、ティーパックの緑茶やインスタントのお味噌汁を持っていくのもいいと思う。常備薬に加えて、胃薬や風邪薬、頭痛薬、目薬、喉が痛くなった時用のトローチなども持って行った。帰りのパッキング用にジップロックを多めに持って行ったがとても便利だった。

日本人が多いので日本語を話してしまうことも多かったのですが、授業中は絶対に英語しか話さないように心がけたり、英語での注文なども友達に頼んでもらったりするのはなく自分自身の力で頑張ってみたりと、日常生活の中で3週間という短い期間だが自分から英語を話すようにするべきだと思う。

積極的にいろいろな人と交流するのが重要

レストランとかインフォメーションセンターでAre you Japanese?と聞かれてyesと答えると日本語で案内されたり日本語のメニュー渡されるので、本気で英語を勉強したいのであれば英語のメニューなどを要求するなどしたほうが良い。

ハワイには大抵日本のものがあるからそんなに日本っぽいお土産にこだわることもないかなあと思いました！ホームステイなので、ホストファミリーとは積極的にお話したほうが良いと思いました！

この研修に参加する目的をあらかじめはっきりさせておくとうまいと思います。

ホームステイ先の当たり外れがものすごいので覚悟しておいた方がよい。

日本人とつるみ過ぎない方がよい

朝を利用して、行動するとうまい。

行くからにはたのしんで！あと目標を持った方がよいです。

## 42. 英語力について

リスニング力がついた

授業中はもちろん休憩中も英語のみに制限されるので、自然と英語が身についた。周りも日本人なのでいざとなったらすぐに助けてもらえるので安心できた。

リスニング力や日常会話程度はスムーズになったと思う

英語で話すことに苦手意識があるなら本当に薄まります。おそらく自分は英語への苦手意識が相当強かったのですが、案外聞くことができるし、話すこともできて進歩を感じます。

しかしあくまで今まで学んできたものを発揮する場所であり、ベースとなる語学力は3週間のうちに圧倒的に成長したとは一概に言えない。英語へのモチベーションはかなり上がる。

こんなにも英語に触れていることはないのととても良い経験になった。

リスニングは前から自信があったのですが、さらに自信ができました。瞬時に反応することができるようになったと思います。話すことに関しては、自分の意見や考え、伝えたいことをしっかり話せるようになりました。

話すことに慣れたと思う。

ルームメイトもクラスメイトも日本人であるため、日本語で話しがちになってしまうが、留学に来た意味を考え、積極的に英語を使うようにした。初めは自分から話すのが苦手だったが、毎日英語に触れるにつれ、徐々に英語を話すのが楽しくなった。会話もなるべく広げられるように自分から話すことができた。

<p>全体的に向上したと思う。 特に、話すことにおいては、今まで必ず緊張していたが、そういうこともほとんどなくなり、自信を持って話すという意味が理解できた。</p>
<p>聞く力は上がる。</p>
<p>リスニング力は上がったと思う  少し、英語の発音が流暢になったのでは</p>
<p>リスニング力やスピーキング力は少し上がったと思う。</p>
<p>特にリスニング力は身に着いたと思う。段々ホストマザーの会話のスピードについていけるようになった。店先でのお会計の一コマなど日常会話も身についた。</p>
<p>英語を話すことに抵抗がなくなりました。現地の学生やお店の人など初対面の人にも積極的に英語で話しかけられるようになりました。</p>
<p>研修中はだんだんと英語だけの授業になれることができ自信もついてきたように感じた。聴くことに関してはすべてを聴き取れなくても話の筋がわかるということに気づくことができたが、話をもっと楽しむためにも語彙力を上げたいと感じた。話すことに関しては以前よりも緊張感が良い意味で減ったように思った。難しい文法を使った方がよいのではと思ってしまっていたが日常会話では必要ないように感じ話すことを純粋に楽しむことができたように思う。</p>
<p>スピーキングとリスニング共に慣れたと思う</p>
<p>リスニングで全部は聞き取れなくても大体の意味を掴んで会話をするができるようになった。</p>
<p>変化はあまり感じませんでしたが、私の英語はまだまだダメなこと、それと同時にそのダメな英語でも通じないことはない、生きていける、と感じました(笑)</p>
<p>日本人がとても多かったので、この研修で本当に英語力を付けたいのなら自発的に英語を話そうとするかなりの努力が必要だと思いました。</p>
<p>現地の人にバスの時間について尋ねられても自然と答えられ、聴く力が着いたように感じた。</p>
<p>リスニング力の向上</p>
<p>英語をためらわずに使えるようになった</p>
<p>あまり変化なし</p>
<p><b>43. 研修を通じて発見したこと、学んだこと、自分が成長したと思う点など</b></p>
<p>ハワイの人達は優しいし、意外と寒い</p>
<p>素晴らしいクラスメートと先生に会うことができ幸せでした。私は最後のパーティーで150人程度の前でスピーチする機会があり、自分はあまり人前に立ったことがなかったけれど、すごく貴重な経験ができ、また今までより英語に自信が持てた。</p>
<p>自主性がついた</p>
<p>英語を話す楽しさ、場所を変えて、関わる人も変えると見えてくるものが変わってくるということを理解した。モチベーションを得たことによって、これからの成長が望める。</p>
<p>人との出会いが自分に大きな影響を与えてくれたと思う。様々な生き方や価値観を知ることができた。</p>
<p>とにかく積極性、自信がつけました。難しい言葉で話そうとせず、簡単な言葉でも自分の気持ちは伝えられます。</p>
<p>学んだことは、本人の努力次第で英語を上達させることができるということ。</p>
<p>成長したと思ったことは、授業中に積極的に発言したこと。</p>
<p>日本にいる時から初対面の人と話すのが苦手だったが、留学してそれを克服することができたと思う。現地の人々は見知らぬ私にも常にオープンで、バス停やレストランで話しかけてくれる人が多かった。その環境にいたからこそ、待っているだけでは成長しないし、自分から話すことが海外では大切なのだと思うことができた。失敗を恐れず話すことが英語力の向上につながると改めて感じた。</p>
<p>ネイティブにも臆せず話せるようになったこと。また、売店、レストランのレジ、バスの運転手さんなど、必ず先生以外のネイティブと話さなければならなくなると思うが、緊張をあまりしなくなったせいか、今まで聞き取れなかったのが、日常会話ならかなりスムーズに聞き取れるようになった。</p>
<p>以前より自分の意見を積極的に話せるようになった。今までは初対面の人と話すことはあまり得意ではなかったが、ハワイでは初対面の人と話すことが当たり前だったので、初対面の人でも楽に話せるようになった。</p>
<p>現地ので生活をして、会計の時など、どのような会話がよりふさわしいのかなどがわかった</p>

伝わらなくても何度も言えば案外伝わる。 怖気付かないことが大事だと思った。
日本の「英語」という授業だけでは身につかない日常会話やことわざ、リスニング力を身に着けることができた。特に練習せずにとっさに英語を話すというシチュエーションは日本では準備しにくく、海外研修をしないと経験できないものでこの経験は自分の英語力の自信に繋がると感じた。
上記の通りです。
私は観光学部に所属しているのでハワイにおける観光に興味をもっていたので、ハワイ大学の学生にインタビューした際に観光に関する質問をした。その際にハワイでは日本以上に観光が日常の生活の中に根づいていると感じた。観光は、現地の人々の日常の生活を観光客がそれを異日常と捉え、現地の人々がほとんど訪れない非日常空間、施設を造り出すことなのだと肌で感じた。観光がハワイの経済を支えていることを理解した上で、ハワイの文化が消費されてしまっていることを問題視する視線ももっている学生が多かったことも印象的だった。観光学部生として学ぶことも多かったが、ハワイの文化を自分自身のアイデンティティだと答えた方もいて、自文化を誇りに思っている方がたくさんいたことも素敵なことだと思った。同時に自然へのリスペクトや人と人のつながりを大切に作る心といった人として大切なことを学ぶことができた。そのことから英語という面だけでなく、物事の捉え方など人として成長できた面も多かったように感じた。
学校だけでなく、ショッピングセンターやホームステイ先でも、英語を話すことが苦じゃなくなっていたこと
英語を話すのに恥ずかしさや不安がなくなった。
ハワイの人の温かさやフレンドリーなところにとっても助けられました！初めてのホームステイでしたが、存分に楽しめました。
ハワイの人の生活習慣、考え方、文化などについてよく知ることができました。また自由時間が多かったので観光客としてもハワイを楽しむことができました。また、英語を話せるようになるには、まず自分が使いやすいフレーズや単語を見つけ、勉強することが大事なと感じました。そうすれば積極的に質問したり、すぐに答えたりすることができるようになると思いました。
積極性が上がり、英語を話すことに対する恐れがなくなった。
英語を学ぶことに対してより意欲的になれた
分からないときは誰かに声をかければ、助けてくれるということ。
コミュニケーション能力